

北の森漫画 樹木漫画 リン子の絵日記 「エゾマツ」

林野庁北海道森林管理局
平田美紗子

四季の観察ポイント

春

雌花は前年の
枝先につく



雄花

幹の中の
虫を食べる
クマゲラ

夏

葉は先がとがる
葉の付け根には
凸型の突起（葉枕）
が目立つ



秋

完全に熟した
松ぼっくりは
枝先に
垂れ下がる



種子

冬

冬芽は三角で松ヤニに覆われる



エゾマツ

マツ科
トウヒ属
樹高
30~40m

枝は垂れ下がリ
トドマツより
優しい印象



種を食べるエゾリス

幹を食べる
ヤツバキクイムシ



樹皮はアカエゾマツと
比べてなめらか

エゾマツは高さ40mにもなる北海道の森の屋根を支える針葉樹で、「北海道の木」に選ばれています。
幹から出る枝が垂れ下がることから「天まで届かなくてもエゾマツ」と覚えられます。光の届かない環境にも耐えることができ、小さいときの成長は遅く、大きく成長するには明るい環境を必要とします。地面の上では種子が菌の害を受けて発芽できないため、倒れた木や切り株の上に芽生えて成長します。根が浅く水分を好むため、乾燥した土地では育ちません。

りんご・日記

見えて木が 一列に並んでいるよ！
エゾマツ 登山に 来ています。

今日は エゾマツの 倒木更新だね



エゾマツの種や幼い木は 菌にとっても弱いから

木の上にとどげー (種)

運よく 倒れた 木の上に 落ちた種だけが 生き残れるんだ。

成長して根元の 木がなくなると 空洞ができて 「根あがり」 なることもあるよ。

エゾマツは成長が遅く、苗木を育てるのに6年もかかるうえ、霜や病害虫に弱いことから、造林が難しく数が減ってきた。

しかし「北海道の木」として親しまれ、材としても優れたエゾマツを回復させようと様々な取り組みが進められているよ。

エゾマツは 40mにも育つ 森のシンボルだ

未来に残したいね

あ！ クマゲラだ。



コンテナ苗での成長試験

エゾマツとくらしとのつながり

エゾマツは木目がまっすぐで美しく、曲げ加工がしやすいことから、建築材や家具材、ギターやバイオリンといった楽器材に活用されてきました。



また繊維が 長いため、パ ルプ材にも最 適です。

アイヌ民族とエゾマツ

エゾマツの枝は垂れ下がり、屋根のようになることから、冬にエゾマツの下で火を焚くことで命が助かった話があります。また松ヤニは赤切れの薬にしたそうです。

